

プログラム名	史跡探訪		活動時間 30分～
概要	<p>○特別史跡の魅力を探訪する。 ○旧閑谷学校の歴史について知る。 ○最大人数 150人程度（内容により要相談）</p>		
ねらい (SDGs)		<p>○国宝の講堂をはじめとする建造物が300年以上にわたり持続してきた理由を考える。 (1670 創建の命、1701 現存のものが創建) ○池田光政の教育に対する考え方を知る。 ○津田永忠の建築技術について探る。 ○学校運営のための財政基盤の構築について考える。</p>	
準備物	<p>○教育センター・・・史跡リーフレット、バインダー、筆記用具 ワークシート ※研修方法により準備物は異なる。</p>		
研修方法	<p>ア 史跡内広場で集合した状態で説明を聞く。 イ 主要建物を回りながら説明を聞く。 ウ ワークシートを用いたグループ活動を行う。(班分け4～6人) エ 探求課題によるフィールドワークをする。 オ 資料館を散策する。 ※以上の活動から方法を検討する。詳細は裏面。 ○写真撮影の時間を含む。</p>		
研修場所	<p>集合場所 ○屋外・・・つどいの広場 ふれあいの広場 史跡内広場（講堂学習後） ○屋内・・・プレイホール 各研修室</p>	<p>活動場所 史跡内</p>	
引率者への留意点	<p>○事前学習 ・旧閑谷学校の歴史と創建に関わった人物について 池田光政、津田永忠、孔子 ・国宝、重要文化財の意味と取り扱いの注意について ・SDGsとの関連について</p> <p>○研修当日 ・整列指導、研修態度指導を行う。 ・支援を必要とする研修生の支援をする。 ・団体の研修（史跡探訪）目的達成に必要な指示指導をする。</p>		

研修の
流れや内容

○史跡探訪で学ぶポイント

- ・池田光政の教育に対する考え方
- ・津田永忠の建築技術
- ・学校運営のための財政基盤の構築
- ・閑谷学校の存続に尽力した人の存在
- ・SDGsと閑谷学校

ア 史跡内広場で説明を聞く活動（15分～）

- ・最大人数 150人程度
- ・集合場所で整列する。
- ・センター職員が説明を行う。

イ 主要建物を回りながら説明を聞く活動（30分～）

- ・最大人数 40人程度
- ・人数が多いと移動が困難、説明が聞こえないことがあるため要相談とします。
- ・集合場所で整列する。
- ・センター職員の引率で活動する。

ウ ワークシートを用いたグループ活動（45分程度）

- ・別紙参照
- ・最大人数 150人程度
- ・4～6人班で活動する。（事前に編成しておく）
- ・集合場所で整列し、センター職員の引率で史跡へ入場
- ・班で整列。道具の配布および活動の仕方を説明する。
- ・班で史跡内を回りながらワークシートを記入する。（約20分）
- ・センター職員が答え合わせと解説をする。

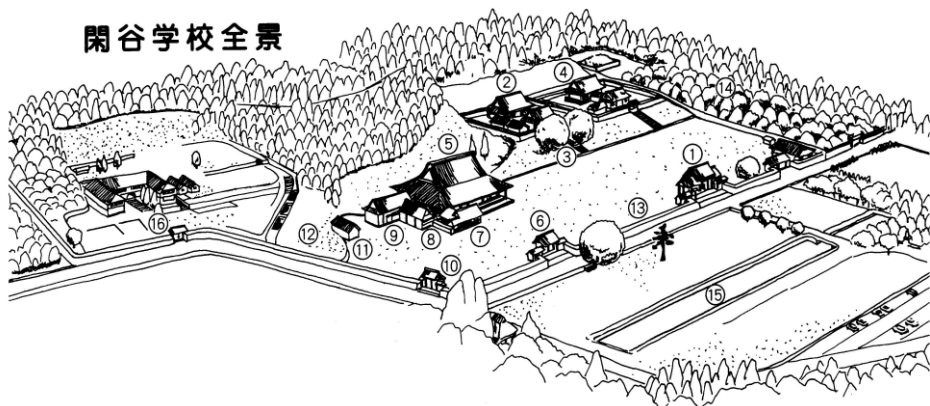
エ 探求課題によるフィールドワーク（原則60分）

- ・別紙参照
- ・最大人数 80人程度

オ 資料館を散策する活動（30分～）

- ・最大人数 60人程度 ※要相談
- ・団体引率者の引率で資料館をまわる。
- ・資料館内見学用のワークシートを使用して活動する。

閑谷学校全景



1. 校門（鶴鳴門）
2. 聖廟
3. 楷の木
4. 閑谷神社
5. 講堂（国宝）
6. 公門
7. 小斎
8. 習芸斎
9. 飲室
10. 飲室門
11. 文庫
12. 火除山
13. 石塀
14. 椿山
15. 泮池
16. 資料館